

隔月刊 小林のぶゆき

第11号

2012年10月発行号

無所属37歳

見える
わかる
変わる
今こそ横須賀を
私たちのものに

横須賀市議会議員 小林伸行の議会活動報告



発行人 小林伸行 小林のぶゆき 検索

住所 横須賀市野比2-13-18

☎ 070-6640-3927

Fax 046-801-2177

✉ info@kobayashinobuyuki.com ↑

Web http://kobayashinobuyuki.com

野比在住。1975年(昭和50年)9月3日生。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)公設秘書として修行し、2011年4月より横須賀市議会議員。地域通貨イタッチ事務局局長など、市民活動にも関わる。

第一特集

あなたの千円、もらいます。

「復興増税」という名の「火事場泥棒」増税の正体を暴く!

第二特集

ち 横須賀さん家の家計簿②

2011年度決算を家計にたとえると……

第一特集

あなたの千円、もらいます。「復興増税」という名の「火事場泥棒」増税の正体を暴く!

国による「詐欺」事件?!

「被災地復興のために1000円ください!」。そう言われたら、財布を開く方も多いでしょう。事実、3.11の後に多くの方が募金をされました。しかし、その1000円が1円たりとも復興に使われていなかったとしたら、どう思いますか? 実はこれと同じことを、国がやろうとしています。ご存じでしたか?

あなたの税金、1000円増えます。しかも10年間。

横須賀市民の住民税を500円上げることが、9月21日に市議会で決まりました。県の住民税も500円上がるので、合計で1000円です。いわゆる「復興増税」です。

国が「オマエたちのところの住民税を1000円増やせ。平成26年から10年間だ。オマエたちが増税しようがすまいが、収入が増えるとみなして仕送り(地方交付税)を減らすから、そのつもりでたまえ」と言ってきたからです。民主党・自民党・公明党らが中身も見ないで復興増税法案*1に賛成したせいです。

震災のドサクサにまぎれた「火事場泥棒」増税

「復興増税」と聞けば、心やさしい横須賀市民のみなさんは「被災地の復興のためなら、増税も受け入れよう」と思うことでしょう。しかし「復興」とは名ばかりで、1円たりとも被災地には使われません。実際には、1000円のうち250円が、県(125円)と横須賀市(125円)の防災対策に使われます。残りの750円は国が横取りして自分のポケットに入れるので、これも被災地には行きません。復興を待ち望む被災地の方々をダシにした、震災のドサクサまぎれの「火事場泥棒」増税です。

しかも、「復興」名目で地方に増税させておきながら、実際には大部分が国の懐に入る、巧妙な仕掛けです。増税で市民から恨まれるのは横須賀市なのに甘い汁を吸うのは国ばかり。

いわば「なりすまし詐欺」増税です

*1:「復興増税」には、国税の所得税部分と、県税と市税の個人住民税部分があるが、市議会報告なので、基本的に市民税と、同じ構図の県民税について書いた。ただし、国税の所得税も問題だらけなのは報道の通り。

黒幕は、やっぱり財務省。

張本人は財務省です。国と地方は、対等の関係になったはずですが、実際には、相変わらず国が地方の箸の上げ下ろしまで指図しています。しかも今回は、単なる指導や要請ではなく、地方交付税という「人質」をとって、脅して増税を強要してきたわけです。とんでもない話ですよ!

増税の前に、やるべきことがある。

我が市の場合、住民税を500円増やすと年間約1億円の増収になり、その75%分(約7500万円)を国に持っていかれます。ただし、増税しなきゃいけないわけじゃありません。つまり「増税して2500万円手に入れるか? 増税せず黙って国に7500万円とられるか?」という選択を迫られたわけです。

しかし、市民に痛みを強いる前に、やれることはやったのか? 年間7500万円は十分に捻出可能です。たとえば、火葬料金を他市並みに引き上げれば年間約1億9千万円の増収、芸術劇場の「芸術普及事業」を縮小すれば約1億5千万円の削減となります(第7号参照)。まだまだ対策の余地があるのに、安易に増税されることに、あなたは納得できますか?

メディアも目をつけ始めた復興予算の間

こうした問題点を、私は市議会で何度も指摘しました。しかし結果としては、市民に増税の「津波」が押し寄せ、横須賀市議会は最後の「防波堤」の役目を果たせませんでした。ただし、実際には、国のひどい仕打ちに腹を立てつつも、「人質」をとられて仕方なく増税に賛成した議員も多いのです。*2

ところが前後してNHKや東京新聞が国の復興予算のずさんな使い方に切り込みはじめ、他の新聞・TVも続いています。国会でも参議院で追及が始まりました。

やっぱりおかしかったのです!

*2:賛成32、反対8で可決。この詐欺増税に反対したのは、井坂新哉、一柳洋、大村洋子、上地克明、小林伸行、ねがしかずこ、藤野英明、山城保男。

イラスト提供 わんぱく http://w.pandora.com/ じんご http://jsozaka.com/ 素村タス http://www.sozabias.com/





昨年2月にお配りした「横須賀さん家の家計簿①」では、「市の財政がどのくらいキビしいか？」を家計にたとえてお伝えしました。「わかりやすい」と好評だったので、今回は同じように、「1年間のやりくりはどうだったか？」をお伝えします。

若干、ゴーインなたとえの2011年度決算です(笑)

家計(一般会計)……給料だけじゃ食っていきません

横須賀さん家は子供3人の核家族で、子供2人は全寮制の学校に通い、互いの両親も別居しているとします。お父さんの給料が年300万円(市税627億)だとすると↓のようになります。

まず収入面ですが、恥ずかしい話、どうしても生活が苦しいので、離れて住む祖父から仕送りをしてもらっています。また、実家の屋敷を守っている、ということで、親戚からもお金をもらっています。しかし、それでもまだ足りないので、ローンを借りて帳尻を合わせています。

次に支出面では、食費、光熱水費・税金、住宅ローンの返済でアップアップ。家(インフラ)もボロボロです

が修繕やリフォームをして何とか使っています。買い物・外食も切り詰めてますが、それなりにかかります。そして問題は赤字補填等。このうち、副業に33万(68億)、家計が別な家族に51万(106億)、赤字補填しているのです。

	たとえ話(年)		現実(年)	
収入(歳入)	お父さんの給料	300万	市税	627億
	お母さんのバイト代	57万	諸収入等	118億
	去年の余り	11万	繰越金	22億
	貯金の取り崩し	9万	繰入金	19億
	貯金の利子・株の配当	4万	財産収入	9億
	祖父からの仕送り	63万	地方交付税	131億
	親戚からの仕送り	28万	各種税金等	60億
	補助金(児童手当等)	97万	国庫支出金	203億
	助成金(障害者手当等)	31万	県支出金	64億
	補償金(敷地の3%占有)	10万	基地交付金	21億
各種ローンの借入	71万	市債	149億	
合計	682万	合計	1425億	
支出(歳出)	食費	134万	人件費	279億
	光熱水費・税金	147万	扶助費	307億
	ローンの返済	79万	公債費	165億
	家のリフォーム	60万	投資的経費	126億
	家の修繕	5万	維持修繕費	10億
	子どもへの貸付	12万	貸付金	25億
	銀行に貯金	14万	積立金	29億
	買い物・外食	100万	物件費	209億
	町内会費など	4万	投資及び出資金	8億
	赤字補填等※	108万	繰出金・補助費等	225億
合計	662万	合計	1384億	



副業(公営企業会計)……苦しいアパート経営。

横須賀さん家ではアパートを3棟経営しています。家計とはおサイフを分け、独立採算が基本です(公営企業会計)。A棟(水道事業)は何とかなるのですが、B棟(下水道事業)は大赤字で、家計(一般会計)から多額の赤字補填をするハメになっています。家賃(下水道料金)が相場より安いので、値上げすればいいのですが、文句言われるのが怖くて今までズルズルきました。この2棟は廃止するわけにもいかず、老朽化していて修繕費用も今後さらにかかるので値上げは必至

です。C棟(病院事業)は、赤字を減らすべく、2006年に不動産業者(指定管理者)に管理を委託しました。確かに赤字補填は減りましたが、「管理人が変わったならサービスが悪くなった」と言う人もいます。

家計が別な家族(特別会計)

横須賀さん家には、別居家族がいます。それぞれ、おサイフは別なのですが、完全に自立できているわけじゃないので、年金や補助金では足りなかった分を、赤字補填してあげてます。でも、今後は親が更に高齢化して医療や介護の費用が増えるので、もう家族だけじゃ支えきれません! 今後は、もっと公的支援がないと一家で共倒れになります。

	たとえ話(年)		現実(年)	
アパートA棟 水道事業	自前の収入	59万	122億	
	赤字補填	1万	2億	
	支出	72万	150億	
アパートB棟 下水道事業	自前の収入	66万	137億	
	赤字補填	21万	45億	
	支出	102万	213億	
アパートC棟 病院事業 (市民病院と うわまち病院)	自前の収入	3万	6億	
	赤字補填	10万	22億	
	支出	15万	32億	
自前の収入計	127万	266億		
赤字補填計	33万	68億		
支出計	189万	394億		

	たとえ話(年)		現実(年)	
おじいちゃんA 国民健康 保険費	自前の歳入	210万	438億	
	赤字補填	14万	29億	
	歳出	218万	456億	
おばあちゃんB 介護保険費	自前の歳入	110万	230億	
	赤字補填	19万	41億	
	歳出	127万	266億	
おじいちゃんC 後期高齢者 医療費	自前の歳入	4万	9億	
	赤字補填	17万	36億	
	歳出	21万	44億	
おばあちゃんD 公債管理費	自前の歳入	106万	222億	
	赤字補填	0円	0円	
	歳出	106万	222億	
寮生活の娘E 公園墓地 事業費	自前の歳入	3万	6億	
	赤字補填	0円	0円	
	歳出	3万	6億	
寮生活の息子F 母子寡婦福祉 資金貸付事業費	自前の歳入	1万	2億	
	赤字補填	0万	0億	
	歳出	1万	1億	
自前の歳入計	434万	907億		
赤字補填計	51万	106億		
歳出計	476万	994億		

編集後記



●「第7回マニフェスト大賞」で優秀賞を受賞! うれしいご報告です。TVでもおなじみの元三重県知事の北川正恭氏が、がんばる地方議員や首長を応援する「マニフェスト大賞」の表彰をしています。この地方議会部門で、「優秀コミュニケーション賞」を頂戴しました。横須賀市では藤野英明議員(第2回/第4回)に続き2人目。内容としては、本チラシでもお伝えしてきた「横須賀ハコモノ研究会」の活動が評価されたものです。ご参加下さったみなさんのおかげです。ありがとうございます!

●次回の「横須賀ハコモノ研究会」第3回は現地視察! 「北下浦市民プラザ」をご存知ですか? 行政センター/コミュニティセンター/みんなの家/老人福祉センター等が1ヶ所に集まったナイスなハコモノ。前回話題になった無料カラオケ&温浴もココです。ちょっと遠い方もいらっしやると思いますが、現場主義です! ここは見所満載ですよ~。
・場所: 北下浦コミュニティセンター 第一会議室(京急長沢駅 10分)
・日時: 12月9日(日) 10:00~12:00 ・資料代: 100円 (希望者のみ昼食の後~15:00 万代会館での視察&お茶会)



応援してください!

- チラシのポスティング
 - 駅でのチラシ手配り
 - ご自宅への看板設置
 - 学生インターン
- 常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。
- ※政治献金・寄付は頂いていません。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。必ず私、小林伸行が自分で目を通します!

E-mail: info@kobayashinobuyuki.com Fax: 046-801-2177

小林のぶゆきの基本政策

- 見える** 誰が何をどう決めてるのかわかんない……。市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。
- わかる** 難しい説明をされてもよくわからない……。いま何が問題なのか。いま何が重要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。
- 変わる** これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

